

海 が 思 い 出 に



1 激しい水しぶきと搭乗者の歓声が上がるバナナボートは一番人気のアトラクション
2 波が静かな港内をカヌーでのんびりと
3 風を切って進むヨット
4 疾走する水上バイク。満面の笑みがこぼれる
5 ビーチサッカーでは女性も「なでしこ」さながらにプレーし、会場を沸かせた
6 ゴールを狙いシュートを放つ
7 潮風と歌声が心地良い砂浜でのラジオ公開生放送ライブ
8 静波海水まつり花火大会。約1,000発の花火に会場から大きな歓声が
9 腕自慢が集結したアームレスリング

夏になり、待ちに待った夏のシーズンが到来しました。市内では、7月中旬から毎週のように、海に関係するイベントが開かれ、海水浴場などには多くの家族連れや観光客が訪れました。

海の日を記念したマリンスポーツフェスタは7月15日、御前崎港マリーナで開催されました。市内外から約350人が参加し、中には埼玉県から訪れた人も。同フェスタは、海洋スポーツを通じて、多くの人に海を愛してもらおうと本市と御前崎市、御前崎マリンスポーツクラブなどが共催。カヌーやバナナボート、水上バイク、ヨット、クルーザーの5つのアトラクションを体験した参加者の顔には爽快感が感じられる笑顔が広がり、会場には歓声が響きました。

静波海水浴場では、7月16日、2012静波ビーチサッカー大会が開かれました。「一般男子」「男女混合」の2部門に、市内のチームを中心に県内から34チーム、約400人の選手が参加。各ブロックに分かれて予選リーグを戦った後、上位2チームが決勝トーナメントに進み、優

勝を争いました。灼熱の太陽の下、選手らは、砂浜の特設のコートに足を取られ悪戦苦闘しながらも、ロングポールを多用したバスケットボールを用いたゴールを目指し、激しいプレーを展開。水着姿の海水浴客の応援を受けながら、必死にボールを追い掛けていました。

ラジオ公開生放送ライブ「KIMIX Sea Side Station」が7月21日、静波海水浴場で行われました。約2500人の観客は、砂浜で公開放送される生のラジオ放送や2組のアーティストによる音楽ライブを楽しみました。

海水浴場では、ほかに、花火大会やアームレスリング大会が開かれ、訪れた人たちは、この地域でしか味わうことのできない夏の海でのイベントを満喫していました。

今年の夏も、暑い日が続いていきます。この地域は、昔から海とともに生きてきました。私たちは、これからも海を愛し、守っていかねばなりません。そして、存分に海を楽しみ、たくさんのおいしさを味わいましょう。

